

5 付加価値額

- * 付加価値額は3兆1932億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が7135億円（構成比22.3%）で最も多い
- * 地域別では、日野市が4578億円（構成比14.3%）で最も多い

(1) 産業別の状況

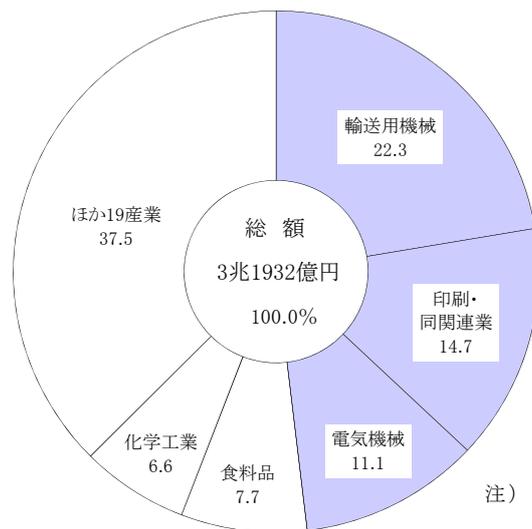
産業中分類別にみると、「輸送用機械」が7135億円（構成比22.3%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が4684億円（同14.7%）、「電気機械」が3542億円（同11.1%）となっている。前年と比較すると、15産業が増加し、9産業が減少している。

前年と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「電気機械」の1312億円（58.9%）、次いで「輸送用機械」の631億円（9.7%）、「情報通信機械」の493億円（47.8%）となっている。

前年と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「はん用機械」の1107億円（△67.3%）、次いで「印刷・同関連業」の209億円（△4.3%）、「その他」の96億円（△10.2%）となっている。

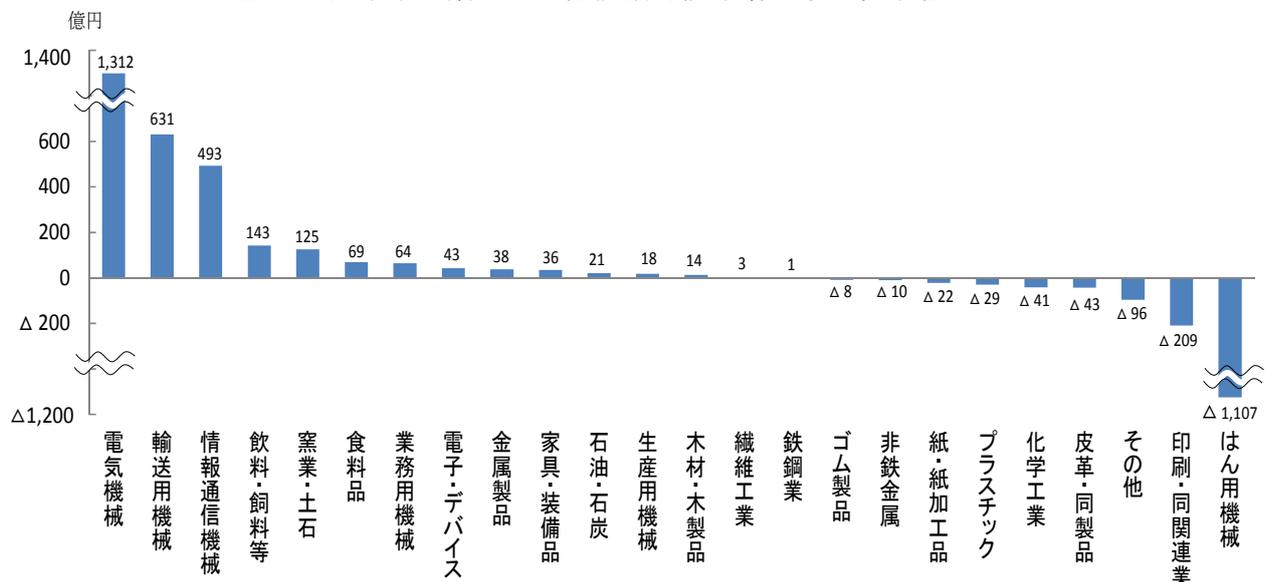
（図22、図23、付表1）

図22 産業中分類別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図23 産業中分類別付加価値額対前年増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が1兆1401億円（構成比35.7%）で最も多く、次いで「10～19人」が3116億円（同9.8%）、「100～199人」が2842億円（同8.9%）となっている。

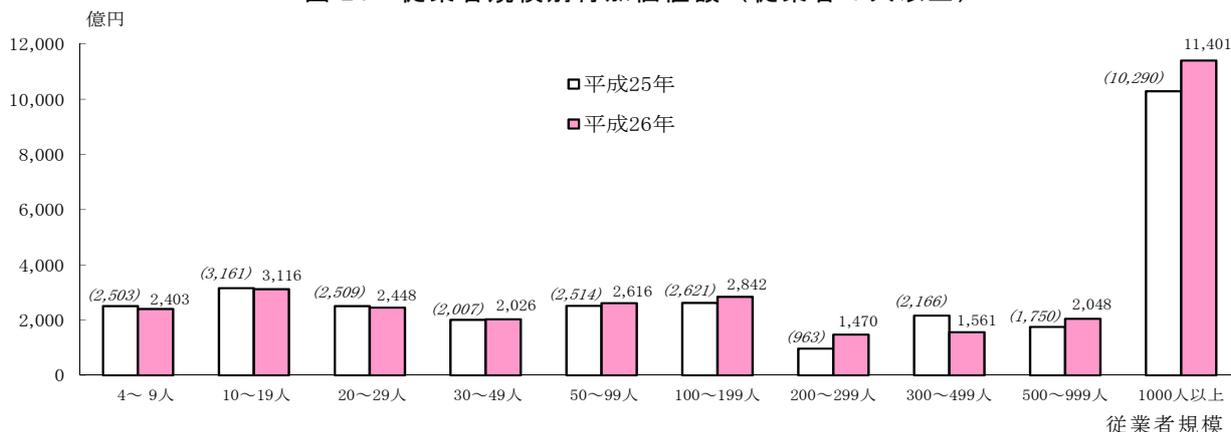
前年と比較すると、6区分が増加し、4区分が減少している。

前年と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「1000人以上」の1111億円（10.8%）、次いで「200～299人」の507億円（52.7%）、「500～999人」の298億円（17.0%）となっている。

前年と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「300～499人」の604億円（ Δ 27.9%）、次いで「4～9人」の100億円（ Δ 4.0%）、「20～29人」の61億円（ Δ 2.4%）となっている。

（図24、付表2）

図24 従業者規模別付加価値額（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

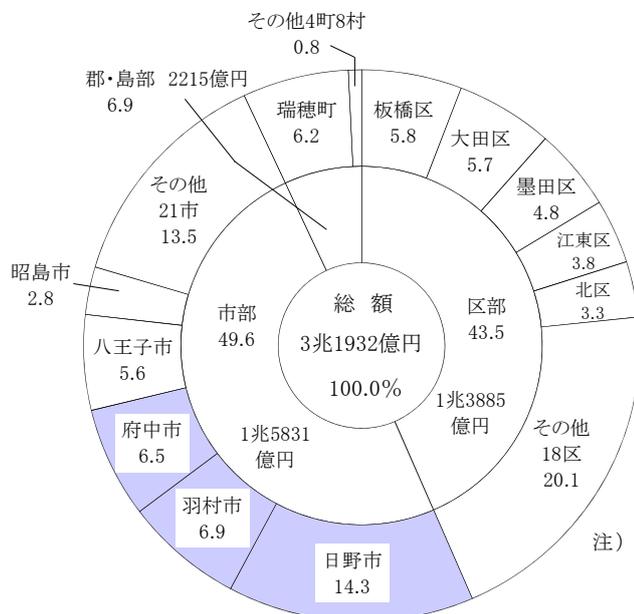
地域別にみると、区部が1兆3885億円（構成比43.5%）、市部が1兆5831億円（同49.6%）、郡部が2201億円（同6.9%）、島部が14億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、板橋区が1863億円（同5.8%）で最も多く、次いで大田区が1807億円（同5.7%）、墨田区が1540億円（同4.8%）となっている。

市部では、日野市が4578億円（同14.3%）で最も多く、次いで羽村市が2204億円（同6.9%）、府中市が2075億円（同6.5%）となっている。

郡部では、瑞穂町が1971億円（同6.2%）で最も多くなっている。（図25、付表3）

図25 区市町村別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 区部、市部の各上位5位及び郡・島部の1位を表記都内上位3位の区市に網掛けをしている。